



広報

なほ市民の友

第649号 毎月1回発行
2005年(平成17年)

2月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷株式会社

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2004(平成16)年12月末現在	
総人口	313,414(1,922)
男	151,640(997)
女	161,774(925)
世帯数	125,383(1,132)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	90,841
真和志	105,472
首 里	59,025
小 禄	56,154

祝 はたちの記念事業

歩き出そう 自分の道だから



本庁地区(上山中)



小禄地区(小禄中)



真和志地区(真和志中)



首里地区(石嶺中)

主な紙面

1 市職員の給与見直し
2 銘対小学校・幼稚園が開校します
3 インターネットで結ぶ
4 協働のまちづくり
5 就職・起業を応援します
6 情報PACK
7

成人の日を前にした1月8日(土)、市が主催する「はたちの記念事業」が歩き出そう、自分の道だから」がパレット市民劇場で開催されました。3回目となった今年は、県内で活躍する20歳のみなさんの表現の場として発表され、那覇太鼓のエイサー、演舞のほか、「100MARKS」、「D・RUSH」のコンサートや笑いコンビ「しゃもじ」の漫才が行われ、パワーあふれるライブ・パフォーマンスに、会場から力強い拍手が送られました。

20代・30代のみなさんが自由に意見を交わす「My Style」若者のしゃべりば」では、「チャレンジ」をテーマに、それぞれの体験を通じた熱弁が繰り広げられました。「チャレンジしても、周囲の人に批判ばかり浴びせられたが、目標をもって実行したことで地域の協力を得ることができた」(24歳・学生)、「若者の無限の可能性を活かし、周囲の大人が若者のチャレンジをサポートすることも大人のチャレンジであり、そうあつてほしい」(28歳・観光企画)などの意見が交わされました。翁長市長は、「今の成熟した社会に夢と希望は持ちにくい、お互いに尊重し合い、ボランティアなどを通して一緒に支え合うことが大切」と話しました。

また、1月9日(日)・10日(月)には、地域主催の成人式が市内中学校17校区、15カ所で開催されました。

若者のやる気を応援できる大人に

市長 翁長雄志

「新都心の自然と遊ぶ」という本の出版やなはエコネットワークの会長としてたいへん活躍されていらっしゃいますね。

安仁屋俊信さん 市が事業所を対象に行った「なは」に関するアンケートをきっかけに、分別や環境にやさしい商品の販売など、わが社の取り組みを発表したこと、那覇市の環境行動計画を推進する準備委員になり、なはエコネットワークの会長を務めることになりました。今年「遊べる川作り」をテーマに活動しようと思っています。

市長 幼い頃は安里川でターザンごっこをしたり、真嘉比川に泳ぎに行ったり、よく川遊びをしました。私は川から環境問題をみんまで考えてもらいたいと思っていました。この本では、子どもの冒険心を満たしながら、考えていけようですね。

安仁屋 活動するには、楽しむことが大事です。北部の清らかな川で家族や友達と遊んだ記憶をよみがえらせました。子どもたちは川で探検したり、大人もその周辺でコーヒーを飲んだり、その風景を想像するだけで

も楽しくなります。市長 好奇心とか探究心を持ちながら、気張らずにやってみようが本来のあるべき姿だと思います。

安仁屋 そのような思いが、いつの間にか地域を巻き込み、みんなで考えるまちづくりにつながると思います。その意味で新都心は、自然環境にも恵まれ、これからの協働のまちづくりには最適な場所です。

市長 新都心に残る自然を行政もがんばって守るようになっています。安仁屋 エコネットワークは行政と市民、事業者、NPOの協働でスタートしました。これまでは行政からの助成金などの支援がありました。今後は一人立ちしなくてはなりません。

市長 それぞれが得意な分野があると思います。お互いが自由な発想で協力していきたいですね。



あじや としのぶ
安仁屋 俊信さん
なはエコネットワーク会長
(株)安木屋常務取締役。昭和30年生まれ、那覇市出身。平成14年3月に発足した「なはエコネットワーク」で、川めぐりや新都心自然観察会などの活動を行う。



まちづくりを楽しもう

市長 安仁屋さん、自然環境にも恵まれ、これからの協働のまちづくりに最適な場所です。

市長 安仁屋さん、自然環境にも恵まれ、これからの協働のまちづくりに最適な場所です。

市長 安仁屋さん、自然環境にも恵まれ、これからの協働のまちづくりに最適な場所です。

